

# 稲城野草散策の会

野草スケッチ ウマノスズクサ (ウマノスズクサ科)



1996/07/19

稲城市押立

絵と文 Ta

植物の科名は、その科に属するものの代表が選ばれる。  
ウリはウリ科、ナスはナス科、スミレはスミレ科である。  
もっとも、中には日本に代表選手がいない場合がある。ラフレシア科がその例だ。  
ウマノスズクサは、ウマノスズクサ科の代表選手である。

ウマノスズクサといっても、一般の人には馴染みが薄い。

---

会報第8号 2005年8月13日発行 発行責任者 尼子 房夫

だが、蝶を飼ったことがあるようなマニアなら、たいてい知っている。

「ああ、ジャコウアゲハの食草ですね」というわけだ。

以前に掲載したタマノカンアオイもウマノスズクサ科である。

カンアオイの仲間はギフチョウやヒメギフチョウの食草になる。

昆虫は食草がほぼ決まっていて、カイコは桑の葉しか食べない。

もっとも、最近ではカイコも人工飼料で育つそうであるが・・・

また、アメリカシロヒトリのように何でも食べる虫もいるし、昆虫と食草は必ずしも1：1ではないらしい。

逆に植物から見ると、一つの植物が数種類の昆虫に食べられていることもある。

ウマノスズクサは、畑の周りの土手など、日当たりのよい草地に生える。

そういう場所ならどこにでも生える、というわけでもないので、他の条件があるはずだが、それが何なのか、私の乏しい観察経験からでは答えが見えてこない。

ただ、何年も草刈がキチンと行われているような場所でない、なかなか見られないのである。

今回、ウマノスズクサを見つけたのは、多摩川の堤防であった。

堤防上のサイクリングロードと、隣接した車道との間にフェンスが張ってある。

そのフェンスの一箇所、5～6mほどの範囲にウマノスズクサが群生していた。

見つけたのは6月。小さなつぼみがついてはいたが、花にはまだ早い。

花を確認したのは7月だった。

スケッチは7/19に行っている。

それにしても面白い花だ。よく、ラッパとかトランペットにたとえられる。

兄貴分のオオバウマノスズクサは、筒の先がぐにゅっと曲がって、サキソフォン型だ。

ウマノスズクサの実是非常に珍しいのだそうである。

数年前、実が見つかったという話が新聞に載っていたことがある。

「牧野新日本植物図鑑」のイラストと、形がかなり違うことが話題になった。

その記事を思い出し、この花が実ったら、もう一度スケッチに来ようと思った。

ところがである。

8/末に同じ場所を訪れて、あわてふためいた。



キバナアキギリ、ヤブレガサ、マヤラン、ヤブラン、ヤマトアオダモ、ウワミズザクラ、ゴンズイ、ニッケイ、ヒメドコロ、イヌザンショウ、リョウブ、ヤブヘビイチゴ、ムカゴイラクサ、コクサギ、コウヤワラビ、キツネガヤ、キクバドコロ、コマツナギ、ミサキカグマ、ユウガギク、イヌガンソク、イワヒメワラビ

## ボダイジュ

駒沢学園の運動場のそばに「ボダイジュ」という名札のついた木がありました。これは、名札の間違いで、「シナノキ」が正しいそうです。「ボダイジュ」は、葉の裏に細かい毛が密生していますが、「シナノキ」は葉の裏の葉脈に茶色の毛があるほかは無毛という点で見分けることが出来るそうです。

〔フローラオフ〕2005/8/25（木） 嵐山溪谷下見オフ

9/10の行事で「嵐山溪谷」を予定していますが、ここは世話役も行ったことがない秘境？です。そこでいつものように下見オフを行ないたいと思います。

いつもの下見と同様に、道に迷ったり判らないものが出て戸惑ったりするかもしれません。ま、その辺も下見オフの楽しさと心得て、覚悟の上で(^\_^)お出かけください。たくさんのご参加をお待ちしています。

【日 時】2005年8月25日（木）10時～16時頃まで。少雨決行

【場 所】埼玉県嵐山（らんざん）町

【集 合】東武東上線・武蔵嵐山駅前（南口）・午前10時

【交 通】池袋8:38→武蔵嵐山9:47の急行が便利

or 稲城長沼8:10→府中本町（乗換）→北朝霞（乗換）朝霞台→武蔵嵐山9:47

【コース】武蔵嵐山駅～R245～嵐山三叉路～千手堂～槻川橋～嵐山溪谷（昼食）～鎌形八幡神社～蝶の里公園～菅谷館跡～武蔵嵐山駅へ戻る（16時頃） 行程：約9km。標高差：ほぼ平坦

【持ち物】昼食、飲み物、雨具。あれば双眼鏡、ルーペ、図鑑など

【申込み】飛び入りでもかまいませんが、HPの「おしゃべりるーむ」に案内を出しますので、「返信」にてお申込みください。インターネットが使えない方は、本日申し込むか、電話でご連絡下さい。

連絡先：T a（広沢）080-3287-7687

【参加費】300円（保険、資料代）

【幹 事】T a（広沢）

【その他】・コースは平坦ですが、足元はしっかりと

・今回、マメ科がいろいろ出そうなので、資料を用意します

- ・トイレは・・・それを調べるのも下見、なのです
- ・@niftyの「FFIELD」でも呼びかけます
- ・ささやかは武蔵嵐山駅または北朝霞駅近辺で行ないます

## 〔フローラオフ〕2005/8/28（日）旧弾薬庫を楽しむオフ

「火工廠」と呼ばれ、戦時中に弾薬の製造を行っていた施設が稲城市にあります。女学生が「勤労働員」されたり、中で爆発事故があったり、数々の「歴史」がありました。戦後、米軍に接收されて現在は「多摩サービス補助施設」として、主として横田基地の兵士&家族の憩いの場となっています。

日本人は許可がなければ入ることができないし、許可を得ても入場の際には厳しいチェックを受けます。このことが逆に幸いして、戦前からの植生が今もタイムカプセルのように残っているのです。多摩丘陵では絶滅したと思われる植物を見ることも稀ではありません。

じつは、1年に1度、ここで「稲城フェスティバル」が開催され、誰でも予約なしでチェックもなしで入ることができるのです。前置きが長くなりましたが、この機会に中を観察してみませんか（あまり奥へは行けないと思いますが）。

たくさんの方のご参加をお待ちしています。

【日 時】2005年8月28日（日）11時～17時頃まで。少雨決行

【場 所】東京都稲城市大丸（おおまる）

【集 合】JR南武線南多摩駅前（改札は1つ）・午前10時半

【交 通】中央線立川駅から南武線に乗り換えて約15分

or 川崎駅から約40分。電車は10分間隔ほどで出ています

【コース】南多摩駅～多摩サービス補助施設入口～植生観察（歴史説明を含む）  
～ 昼食～後は自由行動、流れ解散

【イベント】日米のバンド演奏、模擬店、ポニーの乗馬など。ビール販売もあり

【申込み】自由に入れますので、申込みは必要ありません

が、植物、歴史の説明を受けたい方はおしゃべりるーむにて表明ください。インターネットを使えない方は本日お申込み下さい。

【参加費】オフ参加の場合、300円（保険、資料代）

【幹 事】めりべ（馬場）、T a（広沢）

【その他】・「オフ」参加ではない方は、南多摩駅から直接弾薬庫へ向かってください

- ・「オフ」参加の方には火工廠の歴史に関する資料などを用意します
- ・@niftyの「FFIELD」でも呼びかけます
- ・ささやかは南多摩駅近辺（中でも飲むんだけどなあ(^\_^)

〔行事予定〕 2005/9/10 (土) 嵐山溪谷

項目	説明
集合	東武東上線・武蔵嵐山駅 改札口付近 am10時 ※会旗目標 改札口は一箇所です
交通	東武東上線池袋発急行9:00→武蔵嵐山10:03着 武蔵野線北朝霞乗り換えだと、朝霞台9:16になります
行く先 (解散場所)	嵐山溪谷 東武東上線武蔵嵐山駅 pm4時頃解散予定
見所 その他	秋の草花、ノササゲ(マメ科の仲間) など
地図	
tコース	武蔵嵐山駅～R245～嵐山三叉路～千手堂～槻川橋～嵐山溪谷(昼食)～鎌形八幡神社～蝶の里公園～菅谷館跡～武蔵嵐山駅へ戻る(16時頃) 行程:約9km。標高差:ほぼ平坦

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円